

平成30年3月23日

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 中央区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	誰もが住みやすく地域で楽しく暮らせるまちづくり 【事業費予算1,700千円】※予算は地域と学校部会と共有
事業目的・概要	誰もが住みやすい地域づくりを目指して、地域での支え合いの取組みを進める。 29, 30年度の2か年計画として、「地域包括ケアシステム構築に向けた住民活動の推進」をテーマに、地域に目を向け、地域住民ができることを検討するため、取組みを実施し、「助け合う地域づくり」の推進を図る。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	【29年度実施事項】 ○「地域の茶の間」をテーマとした活動事例集の作成 掲載記事: 8か所 一覧掲載: 65か所(記事8か所含む) 発行部数: 1,000部 配布先: 自治会, 町内会, コミュニティ協議会, 公共施設等
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	「誰もが住みやすい地域づくりを目指して、地域での支え合いの取組みを進める」という目的をどのように具体化するか。幅広い分野の中、部会委員で検討を重ね、「地域包括ケアシステム」を大きなテーマとすることにした。 そのテーマについて、行政が行っていること以外に地域でできることを整理し、住民活動に役立ててもらえるものを部会の取組事項としてスタートした。  具体的取組事項として、地域住民に身近な「地域の茶の間」に焦点を当て、立ち上げの経緯や活動内容など様々な事例を集めた事例集を作成することとし、部会委員自らが「地域の茶の間」を訪ね、携わる人の思いや考えを取材した。この取材を通して、委員自らの地域活動の参考にもなったと考える。慣れない作業ではあったと思うが、取材先の皆様の協力もあり、記事にまとめることができた。  事例集は、住民活動を行うきっかけの要素を持つ一方、地域の身近なところに「地域の茶の間」があるのだと、多くの人に知ってもらえる要素も持っており、手に取ってもらえることで、幾分ではあるが、その役割を果たすことができるのではないかと思う。  30年度も引き続き、「地域包括ケアシステム構築に向けた住民活動の推進」をテーマに住民活動に役立つ取組みを進めるが、29年度の取組みも踏まえてより良い企画になるよう実施していきたい。
備考	